



山田こうじです！

2018年10月7日

NO.198

事務所：西院下花田町9-25

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

自然災害復興の要 中小業者・建設業者の振興を！



9月4日の、台風21号で、屋根瓦が吹き飛ばされ、1カ月たってもブルーシート掛けたまま、修理できないままの家屋が目立ちます。

アベノミクスという経済政策の下、特定の成長産業を支援する経済政策の下、地域になくてはならない、商店街や町工場建設業者が廃業に追い込まれるなか、自然災害に脆い社会になっているのではないのでしょうか。

大阪北部地震、西日本豪雨、台風など、連続して自然災害が襲います。被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

屋根瓦の修繕追い付かず

この10年間で、町場の大家さんや瓦工は3割も減少しています。

まともな働き方改革を

大手ハウスメーカーや、大手家電小売り業者が、クーラーやユニットバスの設置などの仕事を、零細な建設業者を下請として使い、仕事を請け負わせています。

身近な、住宅の修繕を請け負ってくれる、町場の大家さんや工務店が減るなか、大手ハウスメーカーなどに入り込んでいく職人さんが増えていきます。安倍政権が進める不安定で低賃金な「柔軟な働き方」「雇用にとらわれない働き方」の、建設職人版と言えるのではないのでしょうか。

ハウスメーカーや、家電量販店では、今回の様な自然災害の修理には対応できません。

建設産業は、技能労働者の高齢化とともに、若年・中堅層の離職の増加、若年の新規入職者が激減し、技術・技能の継承が困難な状況に陥っています。とりわけ、自然災害

が頻発する昨今において、災害時の緊急対応や復興における建設従事者の役割はますます重要であり、国民の安心・安全にかかわる重大問題です。

こうした状況に国土交通省は、若年層の建設業離れの最大の要因は、他産業と比べても「劣悪な賃金・労働条件」にあるとして、公共工事設計労務単価を5年連続で引き上げ、業界団体に対し民間工事も含めた「賃上げ要請」を行っています。

ハウスメーカーや家電量販店と下請建設業者のまともな取引ルールを作

り、建設職人の地位を向上させる必要があります。

中小企業振興条例を

小売商店も、7年間で4割も減少し、買い物物不便地域が広がっています。

京都市の産業政策は、インバウンド等の観光消費や成長産業、稼ぐ力を市外から呼び込み賑わいの創出だといいい、地元の零細業者は置き去りにされています。

地域循環で、京都経済を活性化させる為にも、稼ぐ力の呼び込みではない、地元事業者の支援を、9月市会で求めます。

第161回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

10月13日(土) 午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)
主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所
佐々木 義人 801-9379



家計の足しにと、お袋は、交通の便が悪い新しい家から自転車、スーパー、ミヤの中の薬局にパートに出ていました。

そして意を決して、喫茶学校に通い始め、家の横に、「赤い屋根」という喫茶店を建て、40過ぎで、慣れない商売を始めました。

三田いづみさん！
No.192

母の思い出⑫

高校を卒業し、一浪の後、京都の立命館大学へ。

松原市の新しい家で過ごしたのは2年足らずでしたが、この頃が、山田家にとって大変な時期だったようです。

まいとおきに